

夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。こうしてみなさんの元気な姿を見ることができて、大変嬉しく思います。夏休み中も補習や部活動で、ほとんど学校に来ていたという人も多いかもしれませんね。しかし、いつもよりは自分の時間がとれたと思います。充実した時間を過ごすことができましたか。3年生にとっては、いよいよ進路目標の実現に向けて大切な時です。特に就職を考えている人は、履歴書の作成、面接の練習など本番の試験に向けての準備をしっかりと取り組んでください。進学を考えている人は、この夏休み中にオープンキャンパスに参加したり、学校案内等の資料を取り寄せたりして、具体的な受験校を決めつつあると思います。日々の授業を大切に、自分の第一志望校合格を目指してください。2年生、1年生のみなさんにとっては、今の3年生の先輩たちの姿は、1年後、2年後のみなさんの姿です。まだまだ先の話だと思っているかもしれませんが、時間はあっという間に過ぎていきます。今やるべきこと、今できることにしっかりと取り組んでください。

さて、野球にあまり興味がないという人も、大谷翔平選手の活躍は知っていると思います。岩手県の花巻東高校時代から投打で才能を発揮し、甲子園にも出場。2012年のドラフト1位で北海道日本ハムファイターズから指名され、2013年の入団以降、投手と打者を両立する「二刀流」の選手として試合に出場。5年間日本でプレイした後、ロサンゼルス・エンゼルスへ移籍。今月9日（日本時間10日）の試合で今季10勝目を挙げ、「野球の神様」と呼ばれたベーブ・ルースが1918年に13勝、11本塁打の成績を残して以来、実に104年ぶりとなる「2桁勝利、2桁本塁打」の偉業を達成しました。大谷選手自身は、日本ハム時代の2014年と2016年にすでに「ダブル2桁」を記録しています。大リーグではベーブ・ルース以降、そもそも二刀流に挑戦する選手さえほとんど現れなかったなかで、大谷選手が新たな歴史を刻んだのです。この試合では、日米通算1000奪三振を達成し、大リーグ通算118号となるホームランも打ち、イチロー選手の持つ日本人大リーグ記録を抜き、単独2位となる記録も残しました。

その大谷選手が高校1年生の時に作った「マンダラチャート」と呼ばれる目標達成シートの話も有名です。このシートは、強い目標（夢）を中央に置き、それを実現するために必要だと考える要素を、周囲9×9の合計81マスに具体的に書き込んだものです。大谷選手が中央に書いた目標（夢）は「8球団からのドラフト1位指名」でした。「見ているだけのものは夢、それを口に出して言葉にした瞬間目標が変わる」という言葉があります。夢は叶えるものだが目標は達成するもの、大谷選手はそれを高校1年生16歳の頃にすでに実行していたことが何より驚きです。さて、大谷選手は、中央の目標（夢）を達成するために必要な要素として「体づくり」「コントロール」「スピード160km」といった項目と並んで「人間性」や「運」という項目を記入しました。「人間性」を身につけるためには「思いやり」「感謝」「礼儀」といった項目が並び、「運」には「あいさつ」「ゴミ拾い」「本を読む」といった項目が並びます。大きな目標を達成するためには、そういった意識を持って日々の生活を送ることが大切だと思わされます。

蛇足ながら、大谷選手は、日本のプロ野球どころかアメリカメジャーリーグからもオファーを受け、高校3年生の時には日本のプロ野球には行かずメジャーリーグに行くことを表明していました。そのことが影響してドラフトで大谷選手を指名したのは日本ハム1球団のみとなり、目標達成とはなりませんでしたが、メジャー表明をしていなければ間違いなく8球団、それ以上の1位指名を受けていたでしょう。

江津高校は「自らの成長のために挑戦できる生徒」を育てていきます。みなさんも大谷選手にならってマンダラチャートを作成してみませんか。自分の目標（夢）を実現するために、何が必要か、何をすべきか、具体的に言葉や文字にしてみると新たな気づきがあるかもしれません。2学期は、学園祭に始まり、様々な学校行事、各部の大会等、生徒のみなさんが活躍する場面がたくさんあります。そうした機会を通して、新たなことに挑戦し、自らの成長につなげてください。